

88歳を記念して・米寿祝賀会

7月10日（土）、鶴遊館で平成22年度米寿祝賀会が開催されました。

米寿祝賀会は、米寿（数えの88歳）を迎えた方々を祝い、これからも元気で生きがいのある生活を送ってもらおうと毎年行われています。

今年の対象者は、大正12年生まれの方々と、84人（男性17人・女性67人）となり、祝賀会では、中野町長から記念品が一人一人に手渡されました。また、アトラクションでは、一戸平二さん（山道）一座の民謡、手踊りなどを鑑賞し楽しいひとときを満喫しました。

ぜひ100歳の金メダルを目指して、いつまでもお元気で！



△米寿記念の手形



△記念の手形が中野町長から手渡される



7/13 中央学習所サクランボ祭り
で種別別大会

7/13 鶴田町高等学校同窓会東京支部
支部総会に集まった同窓生たち

6/24 24年生誕生祝賀文付式で手形を拝す
赤ちゃん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

文化通りが大にぎわい

6月18日（金）、鶴田町料理飲食業組合（花田正逸組合長）主催「第23回つるたじょっぱりチャリティー酒まつり」が開催され、町内外から約600人の愛飲家たちが、酒宴の夜を楽しみました。

抽選券のスタンプカードを持って、酒まつりに協賛している店のうち指定された5店を飲み回り、抽選会場の豊明館へ。抽選会場では、特賞の景品が大型液晶テレビということと、お酒が入ってほろ酔い気分が重なり場内は大いに盛り上がっていました。



△にぎわいを見せた文化通り



△店の前にはオープンカフェも



△友だちとお酒を酌み交わすこの瞬間が最高！

鶴田の子どもたちに大きな夢を

7月7日（水）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんが町の英語教育と子どもの読書活動に役立ててもらいたいと、英語教材68点（約25万円相当）を町に寄贈しました。

町長室で行われた寄贈式には、小笠原教育長と川浪定雄英語教育推進委員長が同席し、松山淳会長、須郷守夫副会長の2人から中野町長に教材と目録が手渡されました。

贈呈式で松山会長は、「不況で大変な時代ですが、子どもたちには、早く英語に目覚め、将来の夢を持って世界にはばたいてほしい。」と述べていました。



△松山会長から目録が中野町長に手渡される



△開会式では、あるじゃならではの風船セレモニー

あるじゃ大盛況・9周年祭

6月18日（金）～20日（日）までの3日間、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」がオープン9周年を記念して「9周年祭」を開催しました。

期間中、県内各地より2万1500人の方が来場し、鶴田産「ふじりんご」のプレゼント、朝市、五ツ太鼓など、さまざまなイベントを楽しみました。

入り口前の広場では、県外から静岡県富士宮市、県内から「津軽半島道の駅連絡会」（浅虫温泉・な



みおか・もりた・十三湖高原・こどもり・たいらだて）と一般からの21店がテント村を開設して特産物の販売が行われ、大盛況な9周年祭となりました。

△鶴田産のリンゴが振舞われました

園児たちが虫おくり

7月10日（土）中央保育所（下山誠司所長）で、「親子夕べの集い」が開催され、保育所の父母による夜店や園児たちによる「虫おくり」が行われました。

虫おくりでは、泣き虫や弱虫、病気の虫など悪い虫を退治するために、願い事が書かれた短冊と「虫」が送り火として焼かれ、最後に園児全員で「虫ばらいの歌」を歌って悪い虫を送っていました。



△虫おくりで焼かれた虫



△「さようなら」を象った送り火



△願い事が書かれた短冊に火をつける園児